

KCJS ニュースレター

第8号

京都お勧めの場所： 伏見稲荷大社

ダニエル・ヒューズ (コーネル大学)

私の住んでいるところは伏見稲荷大社に近いので、毎週一回くらいそこで散歩する。日によって違うが、たいていの場合はコンビニで昼ご飯を買ってから伏見稲荷に食べに行く。



京都で伏見稲荷大社は一番有名な神社なので、その散歩はすごく turist っぽいですが、一番好きな楽しみである。どうしてその散歩が好きか理由は簡単である。日常生活が忙しすぎる時、静かな場所に行きたいからだ。

伏見稲荷大社は静かな所だろうか。毎日、日本人も外国人もいっぱい、近くの店の店員はいつも大きな声で話すので伏見稲荷大社は静かではなさそうだ。しかし、京都では一番静かな所だと思う。入り口と神社の参道はもちろん静かではないが、稲荷山に登ったら、静かになる。登れば登るほど、もっと静かであるところを探ることができる。それに、そのようなところで本当に面白い人に出会える。



稲荷山の上に伏見稲荷大社の本殿がある。そこから京都の全部が見えるので景色がすごくきれいだ。初めて行った時、私は一人で登ったが、稲荷山の上で三人の龍谷大学生に会った。龍谷大学は近いので、毎週末三人は伏見稲荷大社に行くそうだ。稲荷山の秘密をよく知っていると言ったので、私は素晴らしいところに連れて行ってもらった。

本殿の外に、神社の入り口への戻り道があるが、登る道はもう一つある。その道を歩いていくと、古くて大きい鳥居がある。伏見稲荷はもちろん鳥居で有名だが、この鳥居は他の鳥居に比べて違う。もう少し歩くと、大きな林に入る。林には竹が多いから空が全然見えない。林に入る前に私と三人の大学生はよく話して笑ったが、林の真ん中に行くと、静かになった。誰かが「すごいなあ。何も聞こえない」と言って、みんなが静かに賛成した。人の声。車の音。風さえ止んだ。何も聞こえなかったのが、少し怖かったが本当にリラックスできてよかった。そこで私は龍谷大学生と一緒に静かに昼ご飯を食べた。

たいていの場合は、伏見稲荷大社は賑やかで忙しいところだが、いい場所を探したら、静かなところだ。KCJSの留学生の生活は少し忙しいので、時々ストレスがたくさんあり、静かなところに昼ご飯を食べに行きたくなるかもしれない。そんな時は伏見稲荷大社で散歩をして昼ご飯を食べてみてはどうだろうか。

写真:ダニエル・ヒューズ(コーネル大学)

一番うれしかった記憶 ピーキー・ユーター (コーネル大学)

これから話す物語には恐ろしくてひどいことが一杯出てくるから、お腹が弱いお客さんは部屋を出てください。では今からボクの一番うれしい記憶を話します。

この時、ボクはすごく緊張している。心臓がすごく速くドキドキしている。あと3分で始まりだ。そして次の15分の間、相手に腕を振り続ける。ボクはあなたたちが何を想像しているのか分かる。だがこれはボクシングではなくて、クロスカントリーのはなしだ。

バーン！レースが始まった。はじめの一マイル目はエネルギーを節約するために二番目のグループといっしょに走っている。ちょっとつかれたが二マイル目でスピードアップして、二マイル目の終わりまでに一番目のグループに入っていた。

最後のマイルが始まった時にボクは3位だったが、すぐに1位になった。この時は「いけるよ。このレースは勝てるよー」と思っている。でも、一つ大切なことを忘れていた。最後のマイルには大きい丘があって、ボクは丘に弱いのだった。

丘を走っているときにエネルギーがなくなったから2位になってしまった。丘が終わった時は1位の相手が全然見えなかった。「もう無理だ。勝つのはただの夢だなあ」と思っていた。だが、おどろいたことに、ゴールをみたら1位の相手はまだゴールしていなかった。最後の力でボクはスピードアップして、最後の最後の2メートルのところで、相手を抜いた。この15分のレースに勝ったのはボクだった。

これがボクが一番うれしい記憶です。



写真: フランシス・チャン (ブランダイス大学)

日本の在日 ディーン・ニュエン (ボストン大学)

「大阪ラブ&ソウル」を見た後に、哲浩のお父さんの考えが少し理解出来た。僕の両親は最初、ベトナムに住んでいた。でも、その時は生活条件が悪かったから、色々悩んだ末に、アメリカに行くことにした。しかし、ベトナムの政府は厳しくて、違法で逃げなければならなかったから、荷物すら持てなかった。しかも、二人で家族とアメリカに行けなくて、苦しんでいた。でも、二人は頑張り、結局アメリカに着いた。アメリカに着いたら、ネイチャーのように生きた。新しい言葉を習って、ゼロから生活を始めた。

父が仕事を始めた際、とても大変だったが「僕は移民だから、もっと頑張らなければならなくて、自分の力で何でも出来る」と考えた。しかし、アメリカでは今まだ民族性差別があるから、時々父はこの問題についてアメリカ人に怒っている。だから、父と哲浩のお父さんの考えは同じだと思う。

母は父と同じことを経験して、苦しんでいたが、違う意見を持っている。母は哲浩の祖母のように考えていると思う。母は「私達の民族性はベトナム人に違いないが、今アメリカに住んでいて、私達の国籍はアメリカ人だから、一緒に平和的に生活した方がいい」と考えた。母にとって、僕達のベトナムの民族性と文化は大事なことだが、アメリカに住む上で、僕達のアメリカ国籍を理解することも必要だと考えている。

僕は母の意見に賛成だ。いつか、民族性差別がない世界に住みたい。



日本語 D クラス オリジナル枕草子



残念なもの

キャサリン・アレクサンダー (コネチカット大学)

残念なもの。コンビニのお握りのフィルムをはがそうとしてのりを破ってしまう時。傘を忘れた日に限って、急に雨が降ってくる時。横断歩道を渡ろうとした時に信号が赤に変わる時。まして、信号が赤のままで車が一台も来ないのに、隣に立っているおばあさんが青に変わるのを待っているから、待つしかない時。人間は些細なことでイライラする。



オリジナル枕草子 三編

ロザリー・ガイ (シカゴ大学)

早朝はコーヒー

早朝はコーヒー。寒い朝の鈍い光で辛辣な味が下の上に鮮やかに感じられる。

昼は緑茶。青くさわやかな匂いが心を落ち着かせ、今日の後半も続けられると思わせる。

午後はアールグレイ。ミルクと砂糖をたっぷり入れたら、心も甘くなる。

夜はお冷や。それ以外は眠れない。

ゲームを続けさせるもの

ゲームを続けさせるもの。ハンサムな二重スパイがうちのグループに入る時。そして、一回二回私たちが裏切った後、心変わりしていい人になる時。なかなかジャンプが届かない時。アイテムコレクションが完成する時。トロフィーをもらう時。ゲームの続編を手に入れた時。主人公が何か馬鹿なことを言う時。そのような楽観主義がもっとみたいから物語の先を急ぐ。

ゲームをやめさせるもの

ゲームをやめさせるもの。バトルシステムが遅い時。最初のボスが強すぎる時。コントロールが自分の手の動きと合わない時。きれいなグラフィックでも、物語がくだらない時。続編なのに、最初のゲームの主人公が出てこない時。それはわけがわからない。

将来をわくわくさせるもの

イフェ・サムズ (ビンガムトン大学)

励ましてくれるもの。夢の中で自分の好きなことをしながら、周りにおっしゃれで、面白い人がいる。その夢が将来したいことにつながっていると、うれしくなる。

過去の素晴らしいことを思い出す時。何回も夢のようなことが実際に起こって、誠実な神様を信じているとわかる時。これから死ぬまで、そして永遠に奇跡に出会い、不思議な景色を見ていくのだとわかる時。

親友に応援の言葉をももらうもの。考えずにうまいことを言ってもらった時。愛が心から溢れるほど感動したことにびっくりして、人生で次々起こる出来事にわくわくしてしまうわ。

日本語 D クラス オリジナル枕草子

春はウサギチョコ

ジャック・ライオンズ (ハミルトン大学)

春はウサギチョコ。イースターの時に、この面白い形をしているクリーミーなチョコは幸い。また、卵のチョコもあり、ちょこちょこに食べるのも楽しい。

夏はアイスクリーム。ひどい暑さから助けてくれるので、大好き。でも、早く食べないとドロドロになってしまうのはよくない。

秋はハロウィンチョコ。チョコが山ほどあり、太る。でも、おいしいので、構わない。

冬はホットチョコ。ホットチョコよりいい、外の寒さから体を守り、温くなる方法はあるはずがない。その上、マシュマロを入れると最も素敵な食感が出る。



京都の四季

ヘイリー・ボルク (バーナード大学)

春は哲学の道！忽ち桜が咲いて、どこを見ても優雅なピンク色。足下には繊細な花びらで、花の香りも鼻に注ぐ。だんだん暖かくなったら、日曜日の昼に恋人と歩く。ゆっくり散歩したり、隣のカフェでお茶を飲んだりする。でも儂い夢のように、瞬きをするともう過ぎてしまう。

夏は嵐山！早朝山の前に霞。昼が近づくと鮮やかな木の葉の緑や川の青が見えるようになる。陽射しが強いから、アイスを食べ、竹林の日陰へ逃げる。夜になったら、船に乗って、桂川から星の光を眺める。

秋は清水寺！涼しくなって、だんだん木の葉に変化が見える。緑からちょっとずつ黄色、橙色、赤。気付く前にすてきな紅葉になる。マフラーを被って、東山に向かう。八つ橋を味わいながら坂を登る。上から見ると紅葉の海に浮いているよう。かなたに京都の全景。夜に行ったら、暗い空に木の葉が照らされる。



4/3 (金) 植物園の花見にて

∞お知らせ∞

KCJS26 春学期 D クラスによるガイドブック
京都を楽しもう ～見る・食べる・買う～
 公開中！ぜひご覧ください！
<http://www.kcjs.jp/blog/news/20150420.html>

D クラスのガイドブックプロジェクトが、京都新聞とテレビ大阪「ニュースリアル KANSAI」で取り上げられました。



留学生視点で京都案内
 米大の6人、ネットでガイド本
 20日公開

完成間近のガイドブックの原稿を前に意見を交出し合う留学生たち(京都市上京区・同志社大)

京都で日本語を学ぶ留学生たちが京都市内の観光地や飲食店を紹介するガイドブック作りに取り組んでいる。身近な観光スポットを外国人大学生の視点で編集しており、20日からホームページで公開する。「京都の名門私立大学14校で構成する京都アメリカ大学コンソーシアム(上京区)の学生6人が日本語学習の一環で、初めて企画した。市内の代表的観光地を「見る」「食べる」「買う」の各テーマに分けて調べた。」(畠田芳太)

作業は1月から始まった。市販のガイドブックで情報を分析した上で、京都駅前(上京区)や西陣地域(上京区)の社寺や飲食店に足を運んで取材を重ねた。歴史や見どころ紹介だけでなく、英語の案内があるなど外国人向けの情報を盛り込んだ。

参加したジョン・ライオンズさん(20)は「京都は寺や城のイメージがあったが、街中の小さなお店でも米国より長い400年以上の歴史があり、とても驚いた」と話す。

近く完成する予定で、20日から京都アメリカ大学コンソーシアムのホームページで公開する。(畠田芳太)



↑4月7日 京都新聞記事

4月20日テレビ大阪取材風景→

Girl Band Power (GBP) デビュー (&解散?!)



イフェ・サムズさん(ビンガム大、Vo.)とジェニファー・ワンさん(コーネル大、Key.)が、日本人の友人たちと結成した Girl Band Power のライブが、4月17日(金)に京都市内の Studio246 で開催されました。

観客の前で、オリジナル曲を含む5曲を演奏した GBP。最初で最後の GBP ライブを、子供から大人まで楽しみました！



おすすめのシナモンロールの作り方

ジェニファー・ワン（コーネル大学）



私はアメリカでよくベーキングします。日本でも、毎月ホストファミリーのお母さんとベーキングします。ネットのレシピに沿って、ケーキポップやクッキーなど色々な面白い焼き菓子を作りました。失敗するかどうかにかかわらず、一緒に頑張っているのは本当に楽しいと思います。今日お教えしたいのは前回作ったシナモンロールです。

（出典：Allrecipe.com の”Clone of a Cinnabon”）

材料

生地

牛乳	カップ 1
強力粉*	カップ 4 ½
卵	2 個
砂糖	カップ 1/2
バター	カップ 1/3
塩	小さじ 1
ドライイースト*	2 袋

ペースト

黒砂糖	カップ 1
シナモンパウダー	大さじ 2 ½

*日本では一番見つけやすい小麦粉の種類は**薄力粉**です。強力粉は 12-14%グルテンで「bread flour」と言います。私は間違えたことがあるから、気をつけてください！特にアメリカ風のクッキーやケーキを作りたいと思ったら、見つけにくい「all-purpose flour」という中力粉が必要です。強力粉やドライイーストを買うには、四条の高島屋の地下にあるベーキングコーナーがおすすめです。

！パン焼き機を持っている方は、①～⑤を飛ばして、全部材料を機械に入れば生地がすぐできます。

アイシングを加えたかったら、お口に合うレシピをネットで調べた方がいいと思います。アメリカでは Cinnabon のようにクリームチーズのアイシングが大人気だけど、日本では砂糖と水でできたアイシングが普通だそうです。

では、皆さんもホストファミリーと楽しく作って食べてください！

作り方

1. 牛乳を鍋に暖める。泡立ったら、ドライイーストを入れる。そのミックスを大きいボウルに入れる。
2. 卵、砂糖、塩、バターを入れて、よく混ぜる。
3. 強力粉を少しずつ加えて、材料が見えなくなるように混ぜ合わせる。
4. 生地がスムーズになって、腕が痛くなるまで捏ねる。10～15 分ぐらい。
5. 暖かい所で生地をボウルに置いて、しめったペーパータオルを被せる。1 時間ぐらい、生地が二倍になるまでおく。
6. 麺棒で 40x53 センチぐらいの長方形に伸ばす。オーブンを 200 度に予熱する。
7. 小さいボウルに黒砂糖とシナモンパウダーを混ぜてペーストを作る。
8. 生地の上に、バターを塗って、⑦のペーストを振り掛ける。
9. ぐるぐると巻いて、12 等分に切る。
10. ⑨を油を引いた天板に並べる。オーブンで 15 分ぐらい焼く。
11. 出来上がり！



4月1日 日本語科課外授業 「重要文化財 杉本家住宅見学」

祇園祭「伯牙山」の鉾町・下京区矢田町にある、築145年の京町家(呉服商)を訪ね、現当主の次女杉本節子さんに「ハレ」の食べ物と日常食(おぼんざい)について、三女の歌子さんに町家での暮らしと暮らしの中に見られる美についてお話を伺いました。

まずは、昔は、当主の客人しか通されなかったという客間で杉本家に代々伝わる2対の内裏雛と対面。「五感を使った町家体験」をモットーとする歌子さんが電気を消すと、谷崎潤一郎「陰影礼賛」の世界が現れました。開け放たれた障子の向こうに広がる座敷庭に降る雨音を聞きつつ、雛人形の顔が白く浮かび上がり、金屏風が渋い光を放つのを見、「陰影とは何か」を体感することができました。

また、畳を傷めないよう机や椅子を使っていなかったころは、畳の上にお盆を敷いて食事をしたり、紙を敷いた上にお菓子を載せて食べたりという習慣があったため、今でも日本人は素足で畳の上を歩かないのだという説明を聞いて、なぜ日本家屋に上がる際は靴下を履くこと、とことあるごとに言われてきたのかが腑に落ちたようです。



次に「台所」に移り、料理研究家でもある節子さんに「ハレ」食と日常食の違い、ひな祭りの「ハレ」食である「ばらずし」について説明を受けた後、「ばらずし」の試食をしました。



歌子さんがおっしゃったように「体感」— 目で見て、肌で感じ、五感で味わう — というのがまさしく留学の醍醐味だと思います。素晴らしい一期一会に感謝です！

Go KCJS!

みなさん、おめでとうございます！

《就職・進学》

マイケル・リーさん (KCJS23 ボストン大) JET で来日決定

ナターシャ・ガリンさん (KCJS23 タフツ大) 日本語教師を目指しこの秋から大学院に進学

ジェームス・ヒルデブランドさん (KCJS25 アマースト大)

アマースト大学同志社フェローシップで同志社に留学決定

ディアナ・ナーディーさん (KCJS25 コロンビア大) 精華大学(マンガ学部)に正規留学決定

コリーン・ギルモア (KCJS25 ボストン大) Java の東京オフィスにディベロパーとして就職

イバン・エスカミヤ (KCJS25 インディア大学ブルーミントン校)

フルブライト奨学金を受け日本に研究来日決定

ジャスティン・チャオ (KCJS25 ボストン大) JET で来日決定

「JET プログラムの結果が出て、合格しました！本当に嬉しいです！面接の中で、A クラスの授業で習った事をたくさん使うことができました。A クラスの授業でしたトピックについて話したからこそ、合格を頂けたので A Class の経験は絶対重要でした。だから、KCJS の先生方、本当にありがとうございます！」

《日本語能力試験1級合格》

バネッサ・テナザスさん (KCJS25 ジョージワシントン大)

コムキさん (KCJS26 秋学期イェール大)

《日本語能力試験2級合格》

ブランドン・シムズさん (KCJS23 ボストン大)

ディアナ・ナーディーさん (KCJS25 コロンビア大)

アレクサ・バンデマークさん (KCJS25 エモリー大)

グレース・シューさん (KCJS26 秋学期ペン大)

《ボストンスピーチコンテスト出場》

キム・ハミンさん (KCJS25 ウェズリアン大)





**☆KCJS26
サマーリサーチグラント
受賞者**

ヘイリー・ボルクさん(バーナード大)とクリストファー・ヒューバーさん(ブラウン大)がそれぞれ40万円の研究助成金を受け、この夏10週間京都で研究を行います。

舞台芸術に興味があり、NYでもジャパソサエティでインターンシップをしてきたボルクさんは、芝居の公演をフィールドと捉え、エスノグラフィー研究を行う予定。

和歌や能楽など古典に強く魅了されているヒューバーさんは、和歌に詠まれた歌枕の名所旧跡を訪ねるプロジェクトを行います。

**☆KCJS26 秋学期学生賞
受賞者**

先学期の学生賞の受賞者は、以下のみなさんです。おめでとうございます！

①日本語をよく使っているで賞
イフェ・サムズさん
(ビンガムトン大学)

②日本の社会によくとけ込んでいるで賞
アレハンドロ・ルイザスバルザさん
(スタンフォード大学)

③日本語教官賞
～秋学期に日本語学習に真摯に取り組み、春学期も伸びが期待される通年の学生に贈る賞～
ヘイリー・ボルクさん
(バーナード大学)

**☆KCJS26 春学期学生賞
受賞者**

①日本語をよく使っているで賞
クリストファー・ヒューバーさん
(ブラウン大学)

②日本の社会によくとけ込んでいるで賞
アレックス・ユーターさん
(コーネル大学)

③所長賞(ヘンリー・スミス賞)
～CIPの活動に真摯に取り組んだ学生に贈る賞～
ディーン・ニュエンさん
(ボストン大学)

④理事会賞(ジンジャー・マーカス賞)
～日本語学習に真摯に取り組み、めざましい伸びを見せた学生に贈る賞～
アンドリュー・プロブステルさん
(ブラウン大学)
ショーナ・ムーアさん
(シカゴ大学)

この4名は、24日修了式で表彰され、賞金が授与されました。

